

夢咲かせよう 立志の丘で

平成27年2月5日
No.36

綱よい

2月10日に行われる「刈和野の大綱引き」のための大綱づくりの「綱よい」が、1月30日(金)、午後1時半から、上町は中央公民館前で、下町はウォームハート前で、それぞれ、小学生、中学生、高校生、一般の方々が参集して行われました。

天気は、午前中、降雪がなかったのですが、午後からぼたぼたと雪が落ちてきて、すぐにウェアに雪がたまる感じでした。

中学校1年生は、昨年の小学校のときから参加していますから、綱よいの要領は心得たもので、建元さんの指示に従って、ときばきと動いていました。

これで、2月10日の夜(大綱引き本番)を迎えられます。

1年生の皆さんお疲れ様でした。



スキー教室

2月3日(火)、田沢湖スキー場で今年度最後のスキー教室が行われました。久々のよい天気で、1月21日の協和スキー場に引き続き、好天に恵まれました。

当日は、生保内中学校1・2年生、西明寺小学校4・5・6年生と本校1・2年生がスキー教室でした。

本校の生徒は、9時40分頃にスキー場に到着し、9時55分頃から開講式となりました。

体育委員会主催の開講式では校長挨拶の後、指導者の先生方の紹介となりました。

今回は、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、そして元本校教員の方々等、多数の集まりとなりました。

各班の指導者が紹介され、全員で「お願いします！」のあいさつをして、いざグレンデへ。

ほとんどの班が、10時半前に第1回目のリフトに乗ることができました。午前中は、どの班も足馴らしや準備の滑走で、あまり無理をしませんでした。

11時半頃から12時半の間に昼食をとり、午後の活動がスタートしました。昼食メニュー



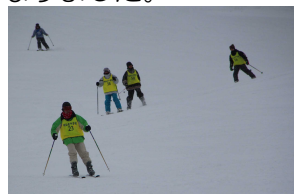
ーを生徒に尋ねたら「カツカレー(1000円)」「焼きカレー(1000円)」「ポークカレー(850円)」などが人気でした。他に「担々麺(750円)」や他のラーメン類を食べている生徒もいました。ボリューム満点で、食後は満腹となりました。

午後は、身体もほぐれてきたことから、第3リフトに上がる班も多数ありました。中にはチャンピオンコースで雪まみれになった班もありました。

午後2時を過ぎたら新しいリフトに乗らない約束で、その時点でかもしかグレンデにいた班も多く、終了の2時30分ぎりぎり本部前に帰ってきた班もありました。もう少し滑りたい、という気持ちを残して、計画の午後2時45分に、閉講式となりました。

各学級代表4名から「実力が出し切れた。技術も向上した。来年に生かしたい。」という発言がありました。それぞれにスキーが上達した一日となりました。

閉講式が終わってから全員で集合写真を撮影しました。



指導者の皆様、一日ご指導ありがとうございました。1年生の保護者の皆様と地域の皆様におかれましては、来年もよろしく願いいたします。体育委員の皆様、運営をありがとうございました。

平成26年度国立教育政策研究所指定 教育課程研究指定校事業 「美術」研究発表会

前号でお知らせしましたが、標記研究協議会が、2月3日に東京で行われました。この場には、今年度全国で指定を受けた教育課程研究に関する発表が各教科等に分かれてありました。本校からは担当である田中真二郎教諭が、発表をしてきました。

他の教科は、20分間の発表に質疑応答でしたが、美術だけは一人40分間の発表でした。田中教諭は、発表後の質疑や感想発表で、「生徒のアンケートの項目がよかった」「美術という担当教諭が一人しかない学校で全校体制で取り組まれたのが素晴らしいし、うらやましい」とありました。

そこで、発表の中味を全て掲載はできませんが、2・3年生のアンケート結果から生徒の感想を紹介します。アンケートは選択部分と記述部分に分かれています。ここでは、記述部分について記します。

◇「美術の学習で身に付けた力を、学校生活や普段の生活の中でどのように使っていますか？」

【デザイン】

- ・家にあるものを時折デッサンしている。
- ・教室の飾り付け。学級デザイン・掲示。
- ・絵を描くとき、習ったことを生かす。
- ・ポスターを描くとき。
- ・テーマに沿った絵。PVをつくる時。
- ・美術の時間に様々な友達の作品を見て参考になれば使っている。
- ・どうすればうまく描けるか考えて描く。
- ・ポスターで字体やデザインを考え作る。
- ・スラスラとデザインできるようになった。

【他の授業で】

- ・自然の観察。
- ・体育などで運動するときに、「イメージ力」を使ってスポーツしている。
- ・美術の学習のおかげでイメージ力がついてきた。
- ・料理の盛りつけのときに想像している。

【配色・コーディネート】

- ・色と色の組み合わせ。(服など)
- ・色を選ぶとき一番きれいになる組み合わせで選べるようになった。
- ・クラスTシャツの補色関係や文字の形。
- ・色合いやデザイン性を考えること。

【生活の場面で】

- ・係のカードをかくときに色の使い方や字体。
- ・生活を快適にできるように使っている。
- ・部屋の模様替え。
- ・誰かに手紙を出すとき。
- ・集中するとき。
- ・家庭学習ノートの書き方。
- ・ノートをとるとき色の組み合わせ。
- ・写真に写るとき。写真を撮るとき。
- ・家の中を飾り付け、明るくしている。
- ・資料をまとめるときに、色のバランスや構図を考えること。

【ものの見方・考え方】

- ・何かの案を出すとき。アイデアを考えるとき。
- ・一つの物をいろいろな見方で見ようとしている。
- ・一つの物などを広く見たり、いろいろなところから見たりしている。
- ・細かい作業を一つ一つしっかりていねいにこなそうとしている。
- ・人は人、自分は自分という個性を大事にした自由な考え方ができるようになった。
- ・学校生活では、どんなことも理解できるようになったし、自信につながっている。
- ・美術の時間に学んだことで、いろいろなことをもっと広く見ようとしている。
- ・友達が普段できないことがあっても、他のことはできると思うようになったこと。
- ・ていねいさや発想力を普段の授業で使っ

ている。

- ・想像力。
- ・表現力。
- ・自分の考えを相手に分かりやすく説明すること。
- ・相手の考えを理解すること。
- ・物事を考える場面で、どうすればよいか考えるとき。
- ・物の特徴を発見する力がついた。
- ・どういう工夫をすればおもしろいか考えられる。
- ・発表する場面で、自分の言葉で話そうとするようになった。
- ・自分のことを作文に書くとき(たとえば、将来の夢についてなど)。
- ・ものの新しい見方ができるようになった。
- ・物事を多方面から見る習慣が日々の生活に役立っている。
- ・自分を表現すること。自分を表現できます!
- ・作品をいろいろな目線で見ようとしている。
- ・場面に合わせて工夫して生かしている。

今年度、本校では、研究授業・校内授業研究会を様々な教科等で行っています。外部指導者(教育事務所、大仙市教育委員会の指導主事)をお招きした授業研究会では、教員をグループに分け、授業参観は全員で行いますが、研究協議会はそのグループで行いました。校内教員だけで行う授業研究会は、全教員が授業参観、そして放課後に全教員で研究協議会を行っています。中学校は、各教科ごとに専門性が異なりますが、「子どもがどこで学んでいたか」「子どもがどこでつまづいていたか」という「子どもの学び」に視点を当てて協議すると、他の教員の考えや自分の授業で見ることのできない子どもたちの姿を知ることができます。一人一人の子どもを全職員が目で見えていくことは非常に有意義で、生徒理解につながったり、学級経営の参考になったりします。このことは、今回の教育課程指定を受ける前の開校一年目から継続しています。

美術教科の教員は一名しかおりませんが、このような研修体制で進めていけば、美術における学びを他の教科に取り入れることができ、また他の教科からの学びを美術の授業にも取り入れることができます。

本校では、廊下のいろいろな箇所に生徒作品や、生徒の作品をつくる過程に関するものが展示されています。来校の際は、是非、ゆっくりご覧いただければありがたいです。

◎ 子どもと家族のペア非行防止健全育成標語

平成26年度標記について、本校の2名が佳作となりました。紹介します。

○ 佳作

1年 斎藤 斗希央さん 麻奈美さん(お母さん)

一言で 心ボロボロ 言葉の矢

「やめようよ」 その一言が カットバン

1年 鈴木 紫苑さん 麻里子さん(お母さん)

聞こえてる? わたしの心の SOS!

一人じゃないよ あなたの味方 家族だよ